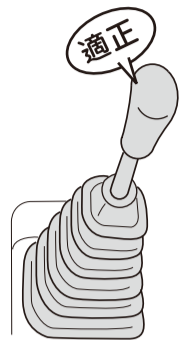


クラッチを長持ちさせるには

発進

適正な発進段で発進する

車両発進時には、適正なギヤ段を選択してください。積載状態（空車 / 積車）や道路条件（平坦路 / 登り / 下り）によっては変わってくる場合もあります。高いギヤ段で無理に発進すると、クラッチ部品破損や早期磨耗の原因になります。*適正なギヤ段については取扱説明書をご参照ください。



適正なギヤ段で

変速

適正な回転数でクラッチをつなぐ

クラッチをつなぐ時には、適正なエンジン回転数で行なってください。また、急にクラッチをつなぐことは避けてください。高い回転数でつないだり、急につないだりすると、クラッチ部品破損や早期磨耗の原因になります。



適正な回転数で

走行

半クラッチを多用しない

微速走行などで、半クラッチ操作を多用しないでください。クラッチ部品破損や早期磨耗の原因になります。



半クラッチ多用しない

クラッチペダルに足を乗せて走行しない

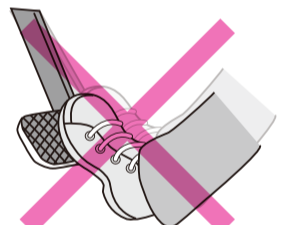
クラッチペダルに足を乗せたままの状態で行かないでください。クラッチペダルに足を乗せたまま走行すると、クラッチ部品破損や早期磨耗の原因になります。



乗せたままにしない

クラッチを切ったまま長時間惰性走行しない

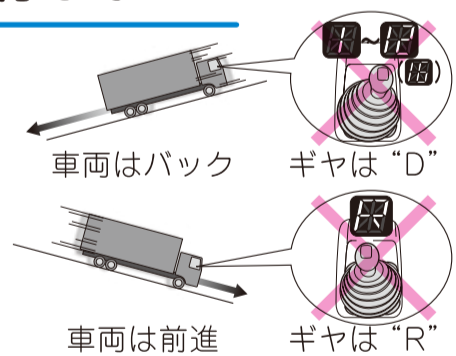
クラッチペダルを踏み込んだままのクラッチを切った状態で、長時間惰性走行を行なわないでください。クラッチをつなぐ際に回転数が合わせにくく、クラッチ部品破損や早期磨耗の原因になります。



切ったまま長く走らない

坂道で進行方向と逆のギヤで走行しない

坂道であっても、つねに車両の進行方向にあったギヤ段で走行してください。登り坂で前進段に入れたまま後退させたり、下り坂で後退段に入れたまま前進させたりすると、クラッチ部品破損や早期磨耗の原因になります。



車両はバック

ギヤは“D”

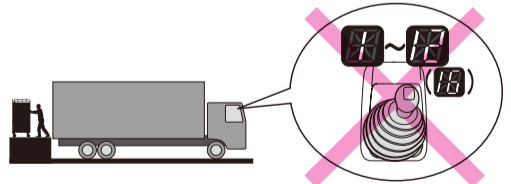
車両は前進

ギヤは“R”

停止

長時間の停車時は N（ニュートラル）へ

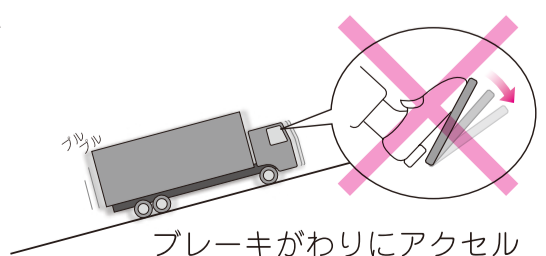
スーマー G 車でエンジンをかけたままで長時間停車するときには、必ずチェンジレバーを N（ニュートラル）にしてください。D（ドライブ）のまま長時間停車すると、クラッチ部品破損の原因になります。



“D”レンジで長い停車

登り坂でアクセルを使って停車しない

スーマー G 車で登り坂で停車するときには、必ずフットブレーキ&パーキングブレーキで停車してください。アクセルペダル（による駆動力）のみを使って登り坂で停車すると、クラッチ部品破損や早期磨耗の原因になります。



ブレーキがわりにアクセル